

「被爆者」とも認められないまま…

まだ終わっていない原爆被害。確定判決に従わない国に早期救済を求める

「黒い雨」 被害者の早期救済を



ことし4月1日より、広島「黒い雨」被害者への被爆者健康手帳の交付が開始されました。これは、76年もの間、国によって放置されてきた「黒い雨」被害者が、集団訴訟などのたたかいによって勝ち取った歴史的成果です。

「黒い雨」被害者救済の道が開かれ、手帳交付



開始から半年が経過しているにもかかわらず、今年9月時点で手帳申請者は推定該当者1万3千人に対して4分の1の約3,400人に

とどまっています。しかも、そのうち半数近くが審査の遅れで手帳が未交付、30人が申請後に亡くなっています。

こうした事態を打開するために、厚生労働省に対する緊急の要請を行うことにしました。

については、厚生労働大臣に対する要請署名への協力をお願いします。署名は、厚生労働省の要請行動の際に提出します。ご協力よろしくお願いします。

ネットから署名

https://www.change.org/gensuikyo_kuroiame

11月17日(木) 13時～

厚生労働省に署名を提出
あなたの署名が大きな力に

すべての被爆者に手帳交付を、いまずぐに
厚生労働省要請

「黒い雨」を知る

黒い雨から76年  YouTube
短命村と呼ばれた里から



広島経済大学メディアビ

ジネス学部3年生の3人
が作成したドキュメンタ
リー動画です。

QRコードで
YouTubeへ



「黒い雨」を浴びた広島市佐伯区湯来町の被爆者の被爆認定を受けるまでの76年間を取材。学生たちは何度も現地に足を運び、被爆者の想いに寄り添い、120時間以上かけて取材。最終的に20分の作品にまとめました。

広島に生まれ育ちながら、ドキュメンタリー制作にとりくむまでは「黒い雨」についてよく知らなかったという学生が、内部被ばくによる健康被害を抱えながら裁判をたたかう被爆者の長年の苦難に耳を傾け、映像を紡いだ意欲作です。ぜひご覧ください。



QRコードで
署名サイトへ

国連認証NGO：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）
東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階
TEL03-5842-6031 Mail:antiatom55@hotmail.com

